

2023年12月18日

株式会社ACSL

## ACSL、日本郵便が実施した「レベル3.5飛行」によるドローン配送試行に 国産ドローンを提供

- 日本郵便株式会社が2023年12月18日（月）に実施した兵庫県豊岡市ドローンによる荷物などの配送試行に、国産ドローン「ACSL-PF2」を提供
- 本試行は、郵便局から配送先地区にお住まいの受取人さま宅の近隣施設へ、補助者なし目視外飛行（レベル3.5）により実施されました。

株式会社ACSL（本社：東京都江戸川区、代表取締役 CEO：鷲谷聡之、以下、ACSL）は、日本郵便株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 千田 哲也／以下「日本郵便」）が2023年12月18日（月）に実施した、兵庫県豊岡市ドローンによる荷物などの配送試行に、国産ドローン「ACSL-PF2」を提供しました。



配送先の「高齢者生活支援センター きずな」に  
ドローンが荷物を配送する様子

ACSLは、2021年6月に、日本郵便および日本郵政キャピタルと業務提携契約を締結し、ドローンなどの自動配送による「配送高度化」をはじめとして、先端技術による配達ネットワークの高度化に向けた検討と取組を継続的に推進しています。本取組の一環として、日本郵便が実施した「ドローンによる荷物などの配送試行」に国産ドローンを提供しました。

本試行は、郵便局から配送先地区にお住まいの受取人さま宅の近隣施設へ、補助者なし目視外飛行（レベル3.5）により実施されました。

これまでのレベル3飛行（無人地帯における補助者なし目視外飛行）では、飛行経路上に立入管理措置などを講じる必要があり、ドローンが道路や線路を横断飛行する際、目視のため補助員を配置することや一時停止義務などが課されていました。この度、操縦者国家資格の保有と保険への加入を条件に、立入管理措置を撤廃する「レベル3.5飛行」の制度が新たに設けられたことにより、新たな制度を活用した実証が実施されました。

ACSLは、今後も、安全、安心なドローン開発を進めることで社会インフラに革命を起こし、重労働で危険な業務を無人化していくという目標の実現を目指してまいります。そして、ドローンがますます生活者に身近なものとして社会実装されていくこと推進してまいります。

■日本郵便主催「ドローンによる荷物などの配送試行」概要

- ・ 運行日：2023 年 12 月 18 日（月）
- ・ 運行区間：出石郵便局（兵庫県豊岡市出石町町分 117）配達区内
- ・ 主催：日本郵便株式会社
- ・ 実施協力
  - 株式会社 ACSL：ドローン「ACSL-PF2」の提供および運航の支援
  - 兵庫県・豊岡市：地域、関係団体などとの調整支援

詳細は日本郵便のプレスリリースをご参照ください。

URL：[https://www.post.japanpost.jp/notification/pressrelease/2023/00\\_honsha/1218\\_01.html](https://www.post.japanpost.jp/notification/pressrelease/2023/00_honsha/1218_01.html)

■飛行の様子



配達先の「高齢者生活支援センター きずな」にドローンが荷物を配送する様子



遠隔監視・操作郵便局を行うパイロット

■使用機体概要

機体名	ACSL-PF2 Delivery
外寸	長さ：1,173mm 幅：1,067mm 高さ：654mm
航続可能距離	10km
最高速度	10m/s(36km/h)
最大離陸重量	1.7 kg（80 サイズ程度）
運航方式	自動航行
その他	地上局 PC 画面で常時遠隔監視 緊急時等には遠隔から操作介入可能 非常用パラシュートを搭載



ACSL-PF2 Delivery

【株式会社A C S Lについて】

A C S Lは、産業分野における既存業務の省人化・無人化を実現すべく、国産の産業用ドローンの開発を行っており、特に、画像処理・AIのエッジコンピューティング技術を搭載した最先端の自律制御技術と、同技術が搭載された産業用ドローンを提供しています。既にインフラ点検や郵便・物流、防災などの様々な分野で採用されています。

<https://www.acsl.co.jp/>

以 上